

令和6年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	43	学校名	多治見高等学校
------	----	-----	---------

学校教育目標 (教育方針)	確かな学力と豊かな人間性を育み、「自ら未来を切り拓き、社会に貢献できる人物の育成」をします。 一步前に踏み出す行動力・粘り強い探究力・ともに高め合う協働力 【校訓】「進取」「努力」「創造」 【スローガン】「一人一人の文武両道」「さわやか挨拶多治高生」	
3つの方針 (スクールポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> 高い志とチャレンジ精神を持ち、主体的に自らの進路を切り拓くための「一步前に踏み出す行動力」を有する生徒 社会で求められる基礎的・汎用的な学力と能力を身に付け、問題解決に向かうための「粘り強い探究力」を有する生徒 自他の個性と生命を尊重する心を持ち、地域や社会や人とのつながりを大切にして「ともに高め合う協働力」を有する生徒
	生徒をどう 育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの適性や興味・関心に応じた、将来の進路を見据えた主体的・協働的で深い学びのなかで、確かな学力を身に付けられる教育課程の編成 わかる授業と探究的な学びを通じて、自らの知識と社会の諸事象を総合的に考えて課題を解決する力と、自らの考えを伝える力を育むための学習活動の展開 生徒一人ひとりの個性や長所を尊重するとともに、仲間との協働的な活動の機会や、自らの進路について深く考えるための機会の提供
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> 学びに対する旺盛な興味や関心を持ち、大学等への進学を目指して主体的に学び、自らの可能性を広げたい生徒 文武両立を目指して、学習や部活動に向上心を持って仲間とともに精一杯取り組み、自らを成長させたい生徒 他者を思いやり、校内外の活動に積極的に参加して、周囲の人と協力してよりよい学校、地域、社会を築いていきたい生徒
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> 学習に対して、受け身的、依存的な傾向が見られ、主体的に取り組む姿勢が不足している面がある。生徒自身が学びの喜びや達成感を感じられるような働きかけが必要である。 学力到達度の格差が大きいため、上位者、遅進者それぞれの学力層に応じて焦点化した、効果的な学習支援の在り方が求められる。 自身の可能性を最大化して、難関大学や県外の大学への進学を志そうとすることに消極的な傾向があり、生徒の自己肯定感を涵養していく必要がある。 多様な教育活動を通して、主体的に課題に挑戦してみることや他者と協働して創意工夫する機会を増やし、生徒の自己指導能力の向上を図る必要がある。 部活動の加入率が減少傾向にあるが、潜在する可能性や個性を伸ばす機会を保証するためにも、より積極的な加入を促していくことが求められる。 	
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標
	学習指導	学力の定着と、思考力・判断力・表現力等が身につく授業内容及び評価方法の研究と実践
	進路指導	生徒一人一人が主体的に進路選択し、高い志とチャレンジ精神により進路志望を実現していくための指導と支援
	生徒指導	生徒の主体的な行動を支援しての安全・安心な学校づくり
特別活動	文武両立を通じた生徒一人一人の自主性の育成と、集団活動を通じた社会性の育成	

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的な取組・方策	県教育振興基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学習指導	①少人数・習熟度別授業の充実、評価方法のさらなる研究と学習到達度目標を指針とした授業改善を実施する	20	施策Ⅳ-20	①学力到達度追跡調査 調査結果の還元度確認			
	②3時間以上の自宅学習を目標とした、授業計画の設計や学習課題の設定を行う	8	施策Ⅱ-8	②学習状況調査 自宅3時間70%以上			
	③教科会や職員研修会の充実を図り、授業力の向上に努める	26	施策Ⅳ-26	③研究授業週間の設定 教職員による相互評価			
	④学力の向上につながる、ICT機器を活用しての効果的な授業方法を研究する	9	施策Ⅱ-9	④授業評価アンケート 生徒満足度70%以上			
進路指導	①明確な進路目標を設定し、生徒自らが進路意識を高め希望を実現するための支援を行う	8	施策Ⅱ-8	①進路結果等の分析・調査 生徒満足度70%以上			
	②地域、大学等との連携や協働によるキャリア教育を実践し、キャリア発達や自己実現に向けての支援を行う	13	施策Ⅱ-13	②各事業のアンケート評価 生徒満足度80%以上			
	③「課題探究型学習」を通して「ふるさと教育」を推進し、自己の可能性や社会的役割の自覚を促す	4	施策Ⅰ-4	③探究ゼミアンケート・外部評価 生徒満足度50%以上 コンクール等の成果			
生徒指導	①MSリーダーズ活動など、生徒の主体的な判断や活動を支援できる体制づくりを行う	7	施策Ⅰ-7	①学校運営協議会や育友会等での評価			
	②学校活動全体で、規範意識や基本的モラル・マナーの育成を図る	19	施策Ⅲ-19	②学校運営協議会や育友会等での評価			
	③交通安全・情報モラル・薬物乱用防止等の指導や講話の実施、不審者情報の共有等を行い、安全意識を高める	7	施策Ⅰ-7	③実態把握を通しての評価			
	④教育相談講話や研修会を通して相互理解を深め、いじめ防止に努める	3	施策Ⅰ-3	④生徒・保護者対象アンケート 実態把握を通しての評価			
特別活動	①集団の中での自己の役割を理解し、他者を尊重しながら協働していく能力の育成に努める	1	施策Ⅰ-1	①②各行事のアンケート調査 生徒満足度85%以上			
	②自らの、あるいは所属の目標の達成に向けて、計画的かつ粘り強く取り組む力の育成に努める。	16	施策Ⅲ-16	③アンケートの項目「学習と部活動」満足度85%以上			
	③生徒の自治活動を支援することにより、自主性や自立心、及び人間関係形成能力を育てる	1	施策Ⅰ-1	生徒の実態観察、各組織の活動状況や実績での評価			

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和7年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和7年 月 日